



「わったーバス大実験」の実施について ～1 人ひとりの少しの工夫で渋滞をなくそう～

■「わったーバス大実験」の実施内容について、下記の日程で記者レクを行います。

○日時:平成 29 年 8 月 10 日(木)14:00～14:30

○場所:那覇第2地方合同庁舎2号館 2階 災害対策室 C

○参加者募集期間:本日より募集開始

○実験期間:平成 29 年 9 月 16 日(土)～平成 29 年 9 月 22 日(金)

○実験概要(別紙参照)

わった～バス党法入党員、バス党サポーター、従業員が多い企業等に実験参加の呼びかけを行い、実験期間中の通勤・退社時に可能な範囲内で公共交通転換や自転車・徒歩通勤、時差出勤等の取組みを実施して頂く。(参加目標:200社以上)実験実施後には、各社の取組み内容や規模、実施に向けた課題等についてアンケート調査を行い、併せてビッグデータ分析を用いた効果分析等を行う。

※URL : www.shimatate.or.jp/try-bus

【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 TEL098-866-0031(代)

開発建設部

企画調整官 もちづき たくるう 望月 拓郎 (内:3113)

開発建設部 道路建設課

道路建設課長 おおしろ てるひこ 大城 照彦 (内:4211)

ホームページ:<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/>

わった〜バス大実験

〜 一人ひとりの少しの工夫で渋滞をなくそう!! 〜

参加事業所
募集中!!

実験期間：平成 **29** 年 **9** 月 **16** 日 ~ **9** 月 **22** 日



わった〜バス大実験は、実験期間中に参加頂いた企業や事業所等の皆様に、ノーマイカー通勤や時差出勤などに取組んで頂くことで「かしこいクルマの使い方」について考えて頂くとともに、道路渋滞の減少効果について検証を行うものです。

募集内容

実験期間中に、公共交通機関、自転車、徒歩、あいのり等によるノーマイカー通勤、または時差出勤に取組んで頂き、実施結果をご報告頂ける企業・事業所等を募集しています。(応募は裏面の参加申込書をご利用下さい)

取組内容の例



- OK 読書しながらバス・モノレール通勤
- OK ラジオ体操に出かけるつもりで早朝出勤 (時差：早出)
- OK たまにはやってみたい重役出勤 (時差：遅出)
- OK 通勤途中に住む同僚をお迎えするあいのり通勤
- OK 自宅で眠っている自転車を使った通勤
- OK 職場の飲み会に併せてみんな揃ってバス・モノレール通勤 などなど

先着 200 社限り

参加申込頂いた企業へ

OKICA (IC 乗車券)

を最大 10 枚プレゼント!!

※ 普段の通勤で自動車を利用している職員がおり、実験期間中にノーマイカー通勤や時差出勤に取組んで頂きアンケートへ回答頂けることが参加条件となります(支店、事業所、部署単位でもご参加頂けます)

※ 実験期間中であればお一人様 1 日だけの取組からでも構いません

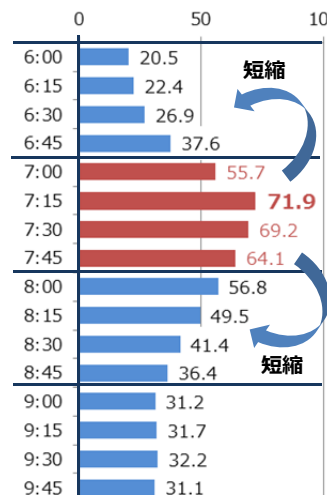
※ プレゼントする OKICA (チャージ金額：500 円) は個人を特定できない無記名式カードですが、平成 30 年 3 月末日までの乗車実績を本実験の効果分析等に活用させて頂く事に同意頂く必要があります(カード提出や返却の必要はありません)

交通渋滞の削減

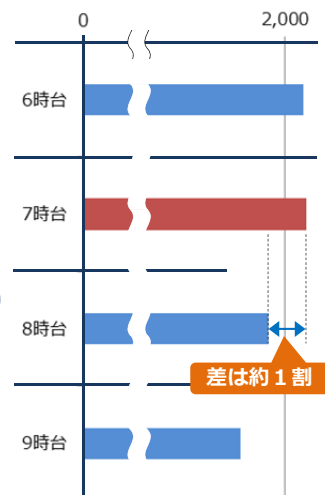
1 割の協力 (例えば 10 日に 1 日、10 人に 1 人) で渋滞に大きな変化が!!

最新のビッグデータ分析※1の結果では、渋滞のピークである朝 7 時台の自動車交通量と、渋滞が緩和する 8 時台の交通量の差は約 1 割でした。また、移動にかかる所要時間も前後 1 時間ずらせば大幅に短縮されることも分かっています。そのため、渋滞時の 1 割の交通量を公共交通や自転車等に転換、または前後の時間帯へずらすことができれば、渋滞のリスクとストレスを大幅に低下させる可能性があります。

国道 58 号(伊佐⇒久茂地)
自動車の所要時間 (分)



国道 58 号(牧港那覇向け)
自動車交通量 (台/時)



※1 ビッグデータ分析 (国道 58 号、集計期間：2016 年 7 月)

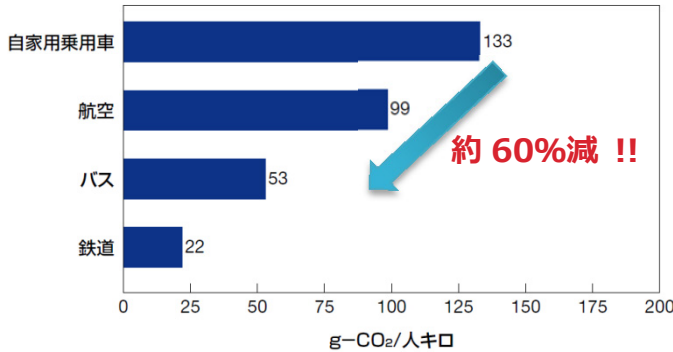
交通量：沖縄県警 (トラフィックカウンター) 自動車旅行速度：沖縄総合事務局 (民間プローブデータ)

環境に優しい



自動車からバス通勤に転換することで、二酸化炭素の排出量を約 60%削減する事ができます。公共交通は環境に優しい移動手段です。

■旅客輸送機関別の二酸化炭素排出原単位



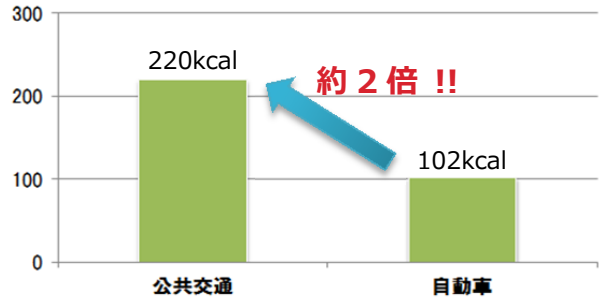
引用：「運輸・交通と環境 2017 年版」
公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

カラダにも優しい



往復 30km の通勤を考えた時、自動車に比べて公共交通を利用した場合は消費カロリーが約 2 倍も高くなります。これを 1 年続ければ燃焼する脂肪の重さにして約 4.5kg になります。

■移動に伴う消費カロリー (kcal)



出典：厚生労働省 第 6 次改定日本人の栄養所要量

お知らせ

「バスナビ沖縄」で路線バスがもっと便利に確実に

「バスナビ沖縄」は、本島内の主要 4 社の路線バスを対象に経路検索や時刻表、料金、乗り換え案内が、パソコンやスマートフォンなどで入手できるサービスです。

モバイルサイト
はコチラ

<http://www.busnavi-okinawa.com/mobile/>

バスがかわる。バスでかわる。



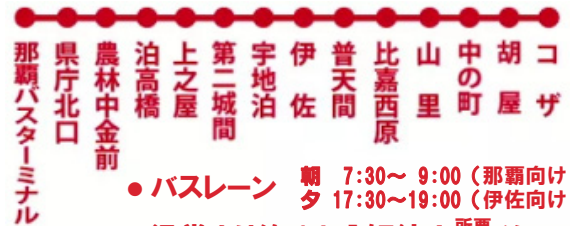
党员・サポーターも随時募集中
詳しくはウェブで

わった〜バス党

検索

那覇 BT~コザ間

急行バス 大好評! 運行中!



- バスレーン 朝 7:30~ 9:00 (那覇向け)
夕 17:30~19:00 (伊佐向け)
- 通常より約 14 分短縮! 所要時間 約 60 分

わった〜バス大実験参加申込書

企業名・団体名				
住所				
全従業員数	_____ 人	全従業員のうち 自動車通勤をしている従業員数	約 _____ 人	
		自動車通勤をしている従業員の うち、実験参加予定の従業員数	約 _____ 人	
		実験参加予定者のうちOKICAプ レゼントを希望する従業員数	約 _____ 人	
担当者	所属 (部署)			
	職・氏名			
	TEL	FAX		
	E-Mail			
企業名・事業所名の公表		<input type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	※実験HP等での公表を予定しております。

《 お申し込み・お問い合わせ先 》 一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所
 FAX: 098-874-5301 / TEL: 098-879-2091 / E-Mail: try-bus@shimatate.or.jp
 わった〜バス大実験サイト: <http://www.shimatate.or.jp/try-bus/>

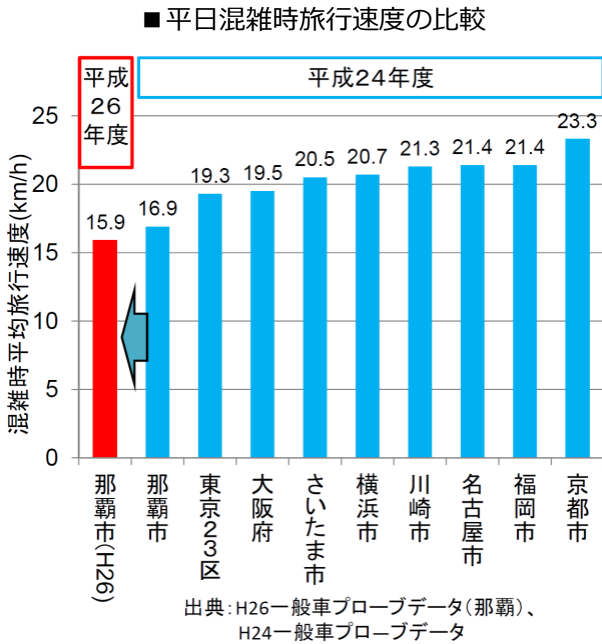


実験サイトはコチラ

【沖縄の交通状況】

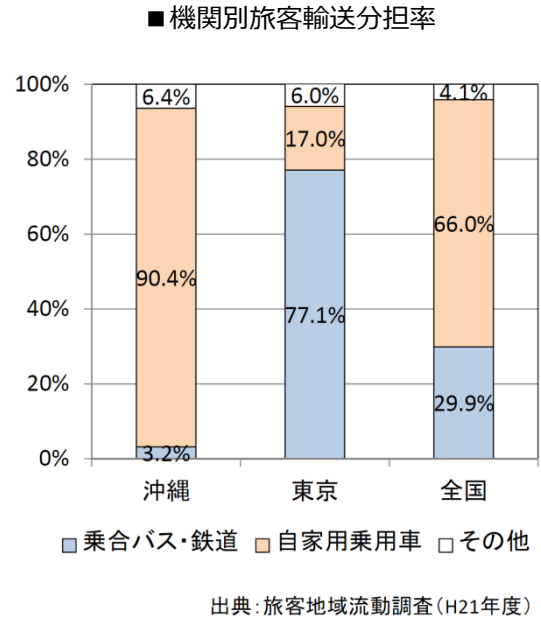
全国ワースト1位

平成24年度の調査では、那覇市内は朝夕の渋滞時の走行速度で全国ワースト1位でした。26年度調査ではさらに低下しており、経済的損失や環境負荷などの面からも大きな課題となっています。



過度な自動車依存

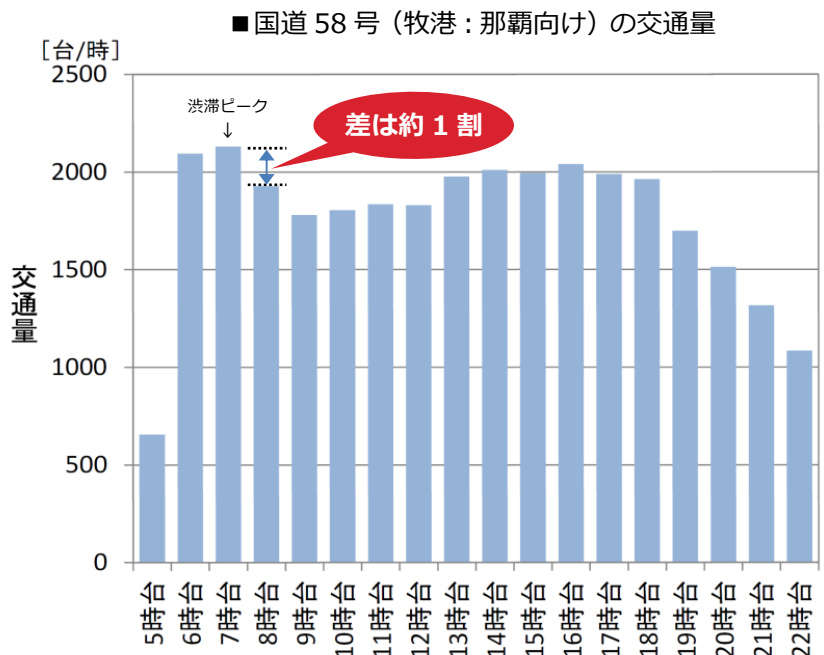
沖縄県では移動手段の約90%を自家用車が占めており、全国と比較しても極めて高い依存度となっています。



交通渋滞の削減

1割の協力（例えば10日に1日、10人に1人）で渋滞に大きな変化が!!

最新のビッグデータ分析※1の結果では、渋滞のピークである朝7時台の自動車交通量と、渋滞が緩和する8時台の交通量の差は約1割でした（右図参照）。そのため、渋滞時の自動車交通量の1割程度を公共交通や自転車、徒歩へ転換すれば、渋滞のリスクと渋滞によるストレスを大幅に低下させる可能性がある事が分かりました。



※1 ビッグデータ分析：沖縄県警（トラフィックカウンター、国道58号牧港、集計期間：2016年7月）

【 ノーマイカー通勤や時差出勤のメリット 】

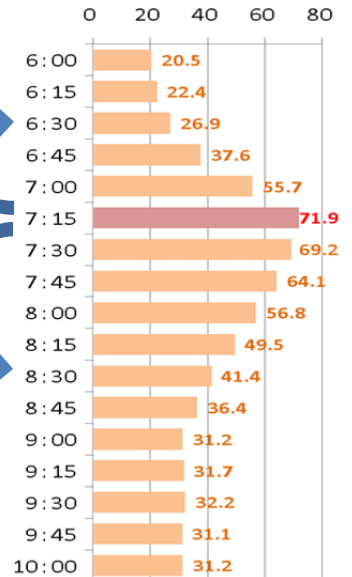
ストレス低減



最新のビッグデータ分析※1の結果では、一般的な通勤時間帯を前後1時間程度ずらすことで、移動にかかる所要時間が大幅に短縮される事が分かっています。時差出勤することで自身は渋滞によるストレスを感じることなく快適な自動車通勤が可能になるとともに、渋滞の激しい時間帯の緩和にも貢献できる事になります。

国道58号の例では、通勤時間を前後1時間程度ずらすと所要時間は30~40程度短縮されています!!

国道58号(伊佐 ⇒ 久茂地) 自動車の所要時間(分)



※1 ビッグデータ分析(国道58号伊佐~久茂地、集計期間:2016年7月) 自動車旅行速度:沖縄総合事務局(民間プローブデータ)

事故リスク低減



2016年の交通事故による負傷者は全国で約62万人でした。免許保有者は約8,200万人ですので計算上ではドライバーの約132人に1人は事故によるケガをしている事になります。一方、バスの事故件数は全事故の0.4%と少なく、普通乗用車や軽自動車等に比べて安全性の高い乗り物であると言えます。

車種別事故発生件数

車種	件数	構成率
バス	2,917	0.4%
マイクロバス	656	0.1%
普通乗用車	358,372	49.4%
軽乗用車	157,643	21.7%
大型貨物車	9,514	1.3%
中型貨物車	15,548	2.1%
普通貨物車	44,721	6.2%
軽貨物車	58,084	8.0%
ミニカー	58	0.0%
自動二輪車	14,532	2.0%
原動機付自転車	25,301	3.5%
特殊車	480	0.1%
自転車等	23,633	3.3%

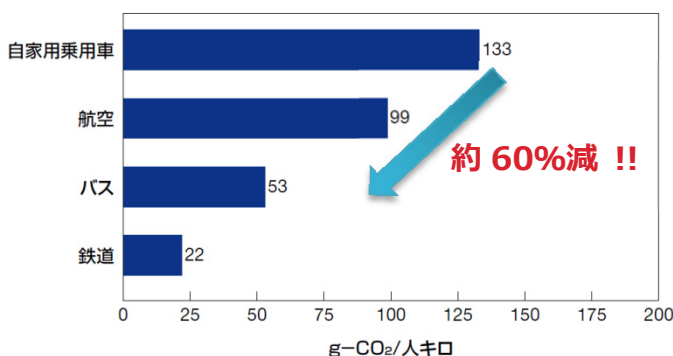
資料:交通事故統計年報(交通事故総合分析センター)、運転免許統計(警察庁) 平成24年度第2回車両安全対策検討会資料(国土交通省)

環境に優しい



自動車からバス通勤に転換することで、二酸化炭素の排出量を約60%削減する事ができます。公共交通は環境に優しい移動手段です。

■旅客輸送機関別の二酸化炭素排出原単位



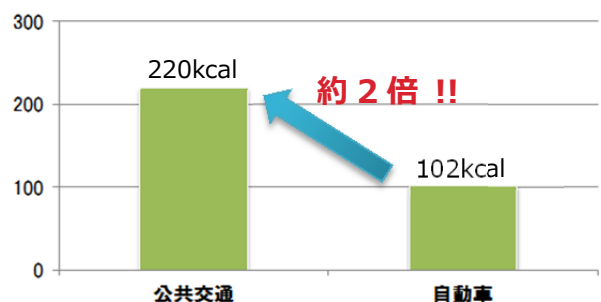
引用:「運輸・交通と環境2017年版」 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

カラダにも優しい



往復30kmの通勤を考えた時、自動車に比べて公共交通を利用した場合は消費カロリーが約2倍も高くなります。これを1年続ければ燃焼する脂肪の重さにして約4.5kgになります。

■移動に伴う消費カロリー(kcal)



出典:厚生労働省 第6次改定日本人の栄養所要量

Q9 実験期間中の取り組み結果で「良かった」または「新たに発見した」と感じたことがあればご自由にお書きください。

記入例：予想以上にバス・モノレール通勤が快適だった

Q10 実験期間中の取り組み結果で「改善して欲しい」と感じたことはありますか？（複数選択可）

- 定時性を良くする
- 運行ルートを見直す
- ダイヤ（時間・便数）を見直す
- 運賃設定を見直す
- 乗り継ぎを便利にする
- 車両・車内環境を良くする
- バス停・駅の待合環境を良くする
- 乗務員のマナー
- 乗客のマナー
- バス停・駅までの移動手段を整備する（コミュニティバス等の導入）
- 運行ルート・ダイヤ・運賃などの基本情報をわかり易く提供する
- 運行情報をリアルタイムに提供する（バスロケ等）
- 自転車が走り易い道路
- 歩行者が歩きやすい道路
- 社内に駐輪場やシャワールームを整備
- 通勤手当や通勤に関する社内規定
- その他（具体的に： ）

Q11 その他お気づきになった点や、ご意見ご感想などご自由にお書きください。

～ アンケートは以上です、ご協力大変有難うございました。 ～

平成 29 年 9 月 30 日（土） までに参加企業・事業所等の単位でまとめて下記へ送付下さい

《 アンケートに関するお問い合わせ先 》

一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所

TEL : 098-879-2091 / FAX : 098-874-5301 / E-Mail : try-bus@shimatate.or.jp

わった～バス大実験サイト : <http://www.shimatate.or.jp/try-bus/>



実験サイトはコチラ

お知らせ

「バスナビ沖縄」で路線バスがもっと便利に確実に

「バスナビ沖縄」は、本島内の主要 4 社の路線バスを対象に経路検索や時刻表、料金、乗り換え案内が、パソコンやスマートフォンなどで入手できるサービスです。

モバイルサイト
はコチラ



<http://www.busnavi-okinawa.com/mobile/>

バスがかわる。バスでかわる。



党員・サポーターも随時募集中
詳しくはウェブで

わった～バス党

検索

那覇 BT～コザ間

急行バス 大好評! 運行中!

- 那覇バスターミナル
 - 県庁北口
 - 農林中金前
 - 泊高橋
 - 上之屋
 - 第二城間
 - 宇地泊
 - 伊佐
 - 普天間
 - 比嘉西原
 - 山里
 - 中の町
 - 胡の屋
 - コザ
- バスレーン 朝 7:30～ 9:00（那覇向け）
夕 17:30～19:00（伊佐向け）
- 通常より約 14 分短縮！
所要時間 約 60 分